

恋人の聖地 観光交流大賞2018

海峡ゆめタワーに特別賞

審査員賞の表彰状を手にする村田常雄
理事長(左から3人目)



表彰状を受け取った。村田理事長は「今後も、地域とともに『恋人の聖地』にふさわしい活動を続けたい」としている。

同タワーでは、28階展望室にある「縁結び神社」などが若いカップルに人気で2006年、山口県では初となる「恋人の聖地」に選定された。(白銀秀親)



「観光地域の広域連携」

を目的に、「恋人の聖地」プロジェクトを展開しているNPO法人「地域活性化支援センター」(静岡市、志垣恭平理事長)は、山口県下関市豊前田町の「海峡ゆめタワー」を、「恋人の聖地 観光交流大賞2018」の特別賞、審査員賞に選んだ。

同支援センターは、「恋人の聖地」のコンセプトを

生かした活動実績を挙げた自治体や団体を表彰している。今年は71件の応募があったという。

海峡ゆめタワーは、同県花卉園芸農業協同組合と連携した「いい夫婦の日」に花を贈ろうキャンペーンや、ハート形に育てた下関柑橘組合の温州みかん「ひとめぼれ」のPRイベントなどが評価された。

授賞式は5月29日に東京であり、海峡ゆめタワーを運営する同県国際総合センターの村田常雄理事長が表